

24162	図法及び製図	4単位 通年	1~4	演習	福田 英昭 (非常勤)
-------	--------	--------	-----	----	-------------

■授業概要とねらい

美術・デザイン系の人々に関わり深い平面図学と透視図法にウエイトを置き、製図の基本技法(線・文字・記号の正しい描き方、製図用具の適切な使い方など)をもとに、平面図形の製図を通して学習する。また、立体図学を概説し、テクニカル・イラストレーション(軸測図・透視)の実技を習得する。さらに、JIS 製図通則を理解し、三角法による製図の実技を行う。図学の目的が単なる実用上の問題だけでなく、知的に物を見る目、正しく図形を描く手、さらに形に対する頭と感性の向上にもあるので、3次元の複面投影や製図法、製図用具とその用法を基礎から学んでいく。

■授業計画・方法

講義と実習形式で授業を行い、多くの図面を実際に描いていく。 毎週金曜日(10:20~11:50 am)

[前学期]		[後学期]	
1	4月17日 オリエンテーション	1	テクニカル・イラストレーション(1)
2	4月24日 いろいろな図面と製図の歴史	2	テクニカル・イラストレーション(2)
3	5月01日 製図用具の使用法	3	テクニカル・イラストレーション(3)
4	5月08日 文字及び記号について	4	切断、相貫
5	5月22日 線及び寸法について	5	展開
6	5月29日 立体の表し方(投影法について)	6	曲面
7	6月05日 正投影図法(1)多面投影法	7	CAD による図法の作成と投影表示(1)
8	6月12日 正投影図法(2)単面投影法	8	CAD による図法の作成と投影表示(2)
9	6月19日 斜投影図法(キャビネット図)	9	CAD による図法の作成と投影表示(3)
10	6月26日 第一角法と第三角法	10	身の回りの図面分析
11	7月03日 透視図(1)	11	工業製品の図面の分析
12	7月10日 透視図(2)	12	総合演習
13	7月17日 正投影図法の応用	13	研究発表(1)
14	7月24日 等角図法の応用	14	研究発表(2)
15	7月31日 総合演習	15	研究発表(3)

後期の日程は後期初回に連絡する

■履修上の留意点(授業以外の学習法を含む)

受講生は常時、正式の製図用具を持参すること。

■成績評価の方法・基準

作成した各種図面、学期末の筆記試験、各自に与えられたテーマについての研究発表、授業態度(出席など)を評価の対象とする。

■教科書・参考文献(作品)等

【教科書】

- ・ 堤 浪夫『美術系図学・製図』鳳山社(ほうざんしゃ), 1991, ¥3,150- →生協で購入して下さい

【参考文献】

- ・ 大西 清『JIS にもとづく標準製図法』理工学社, 2000, ¥1,764-
- ・ 川北 和明ら『総合図学・製図』朝倉書店, 1999, ¥3,675-
- ・ 桑畑 平治『わかりやすいテクニカル・イラストレーション』オーム社, 1997, ¥2,100-

■連絡先 メール:fukudah@edu.u-ryukyu.ac.jp 電話・ファックス:098-895-8395(福田研究室直通)
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原 1 番地 琉球大学教育学部技術教育教室(木材加工研究室)

*教育実習, 学外実習, 就職活動等で欠席する場合は, 事前に「欠席届」を提出して下さい。